

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 3, 事業名, 事業承継状況データ整備事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部署, 事業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐藤大輔, 施策コード, 2, 施策名, 商工会ならではの事業承継の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

県内企業の経営者平均年齢は、今後10年で引退平均年齢の70歳を超えることが確実視されており、加えて商工会地区の商工業者アンケートでは、76%の企業が事業承継に対して何らかの課題を抱えているとの回答もあることから、地域商工業者の実態把握を進める必要がある。

2. 事業のねらい

巡回相談等を通じて事業者の実態把握を進め、支援対象の順位付けから支援対象者の絞り込みを行う。

3. これまでの評価結果

Table with 10 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, B, R2, B

新型コロナ対策の相談と併せて事業承継状況のヒアリングを実施したことにより、商工業者のデータ整備率を高めた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

「商工会加入強化ガイドライン」に基づく取組と連動するとともに、事業承継以外の各種支援施策の情報提供といった様々なアプローチを織り交ぜて行うことで、商工会未加入者のデータ整備を進めていく。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 5 (商工業者の事業承継状況データ整備) and 6 (事業承継に関する支援先の絞り込み).

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 5, 取組コード, 5, 取組コード, 5, 指標名, 商工業者の事業承継状況データ整備, 指標名, 5, 指標名, 5, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 年度, H29, H30, R1, R2, R3. Rows include 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

商工会地区における商工業者の76%が事業承継に対して何らかの課題を抱えているという調査結果があることから、実態把握の基礎となるデータ整備は必要不可欠であるため、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

「秋田県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し事業者に対する意識啓発を行ったが、コロナ禍という状況もありデータ整備率(目標達成率)は80%に留まった。しかしながら、昨年度に比べ5%上昇していることもあり、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

「秋田県事業承継・引継ぎ支援センター」と役割分担を行ったことで、コストを抑えた効率的な事業展開ができた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

「秋田県事業承継・引継ぎ支援センター」との連携や新型コロナ対策の相談と併せたヒアリングにより、商工業者のデータ整備率を高めた。

3. 課題

商工会未加入者を対象としたデータ整備を進めていく必要があるものの、事業承継という繊細な案件における商工会未加入者へのアプローチは難しいため、「商工会ならではの事業承継推進実施要領」を見直す必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

「事業承継実現ガイドライン」を作成するとともに、「商工会加入強化ガイドライン」と連動した取組の推進など、事業承継以外の各種支援施策の情報提供といった様々なアプローチを織り交ぜて行うことで、商工会未加入者のデータ整備を進めていく。